

～第5次 明日香村総合計画 基本構想～

明日香村を 未来へつなぐ本

— 明日香村読本 更新版 —



明日香村

明日香村を 未来へつなぐ本

— 明日香村読本 更新版 —

この冊子「明日香村読本」の目的

「より多くの方に明日香村の価値と現状を知ってほしい」

「心のふるさと明日香を次代に引き継ぐ取り組みに関わってほしい」

という思いを伝えるものです。

「明日香村読本」の位置づけ

第5次明日香村総合計画の基本構想をまとめた村の大綱です。

(村づくりの最上位計画 / 計画期間：令和2年～令和11年)

「明日香村読本」の取り扱い

観光パンフレットではありません。

この読本を手にとりいただいた方々には、この機会に、それぞれの立場で心のふるさと明日香の村づくりにおいて何ができるかを考えていただくことを期待します。

～ 未来へつなぐために ～

明日香村で暮らす人・
働いている人の声



P4

明日香村が目指す
未来のすがた



P8

未来へつなぐ、3つの戦略



P12

明日香村の土地利用



P14

明日香村 DATA



P15

明日香村で暮らす人・働いている人の声





我が国の律令国家が形成された時代における「政治」および「文化」の中心的地域で、日本国が誕生した場所。

特別史跡3件を含む国指定史跡が21件、国宝3件、名勝1件など貴重な遺産が村の全域にわたって数多く存在している。

歴史的風土を守るため、「明日香法」という明日香村のためだけの法律がある。

国営飛鳥歴史公園や飛鳥資料館、万葉文化館など国県の学べる施設が多い。

明日香村の「スゴイところ」
→ P16

歴史的文化的遺産に加えて、万葉集で詠われた風景、棚田などの農村環境、集落のまち並み、おんだ祭りや綱掛神事などの祭礼・行事とが一体となって多様な歴史的資産の総体として、歴史的風土が構成されている。

これらは飛鳥時代のみならず、原始から現在に至るまで時代的に重層的に育まれてきたものであり、住民の生活やなりわいの中で現在に継承されてきており、このような環境が一度に揃う地域は非常に希少な存在で、価値のあるものである。

毎年約80万人の観光客が訪れる。





まだまだ未解明な遺跡が多くあり
発掘調査が続いている。

下水道の普及率が高いなど、全村
にわたり住環境が整っている。

新しい元号の「令和」は万葉集を
典拠としているが、我が国最初の
元号は飛鳥時代に定められた「大
化」である。

明日香村の「じっは〇〇」
→ P16

歴史的風土を暮らしながら守るた
めに、家を建てる時などに、さま
ざまな規制がある。その代わりに、
一部の助成も実施されている。

京都・大阪へは電車で1時間圏内、
橿原市など都市に隣接し便利。

まだ世界遺産にはなっていない。

遺跡の多くが地中にあり見えない
ため、価値がわかりにくい。





観光、景観、防犯、交通安全、教育、福祉の分野で ボランティア活動が活発である。

村の環境を活かし、幼小中一貫教育により郷土を愛し、国際人として活躍できる子どもの育成を行っている。

明日香村の「良いところ」→ P17

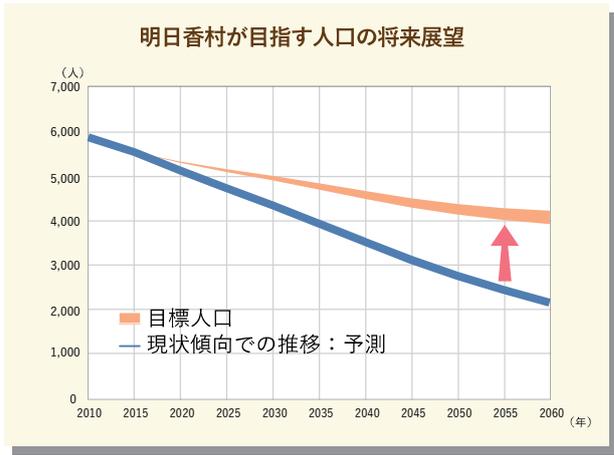
切れ目のない子育て支援の環境が充実している。

総合型地域スポーツクラブ「楽スポあすか」を通して、健康と元気のある村づくりが進められている。

たくさんの大学と知識や人材を活用できる連携を結んでいる。



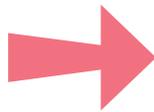
明日香村へ緩やかに吹いている風 — 転入者の増加 —



村の人口は、平成2年をピークに減少の一途をたどっていますが、ここ数年転入超過の傾向が見られ、村のあちこちで新しい活動、新しいコミュニティが見られるようになってきました。

この明日香村へ緩やかに吹いている風を取り込み、明日香村を支える村民が暮らす快適な暮らし環境を整えることで、目標年次(2029年)には4,800人の人口とすることを目標とします。また、2060年には4000人程度の人口を確保することを目指します。

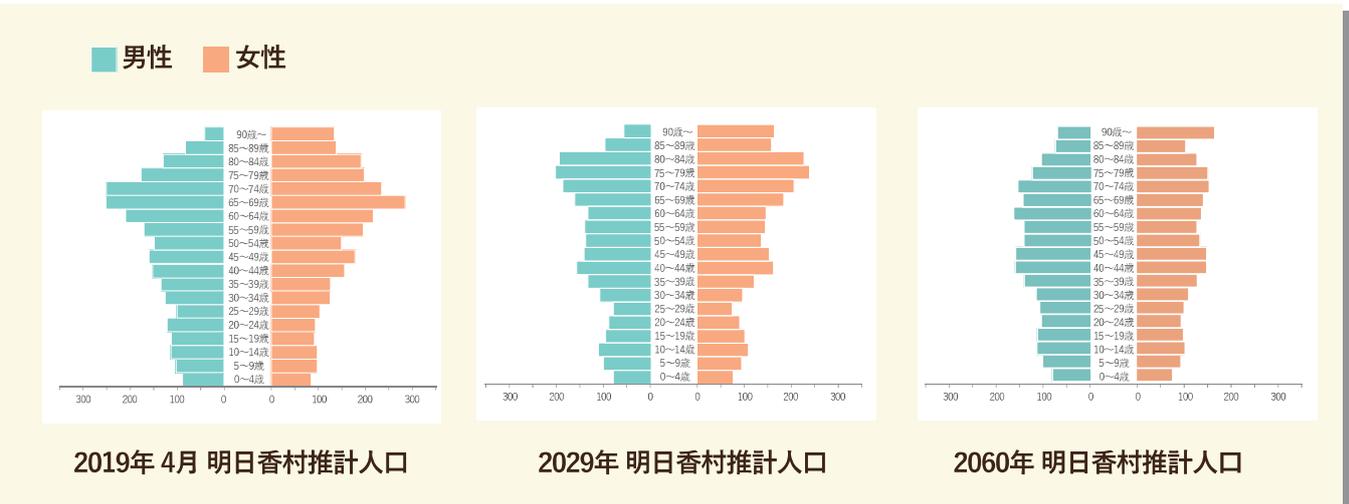
現在の人口
(2019年4月)
5,560人



2029年の人口
4,800人

バランスのとれた人口構成に

将来推計となる 2060 年の人口ピラミッドは、2019年と比較し総人口は減少するものの、働き手・子育て世代と子どもの人口は一定数確保され、バランスのとれた人口構成を目指します。



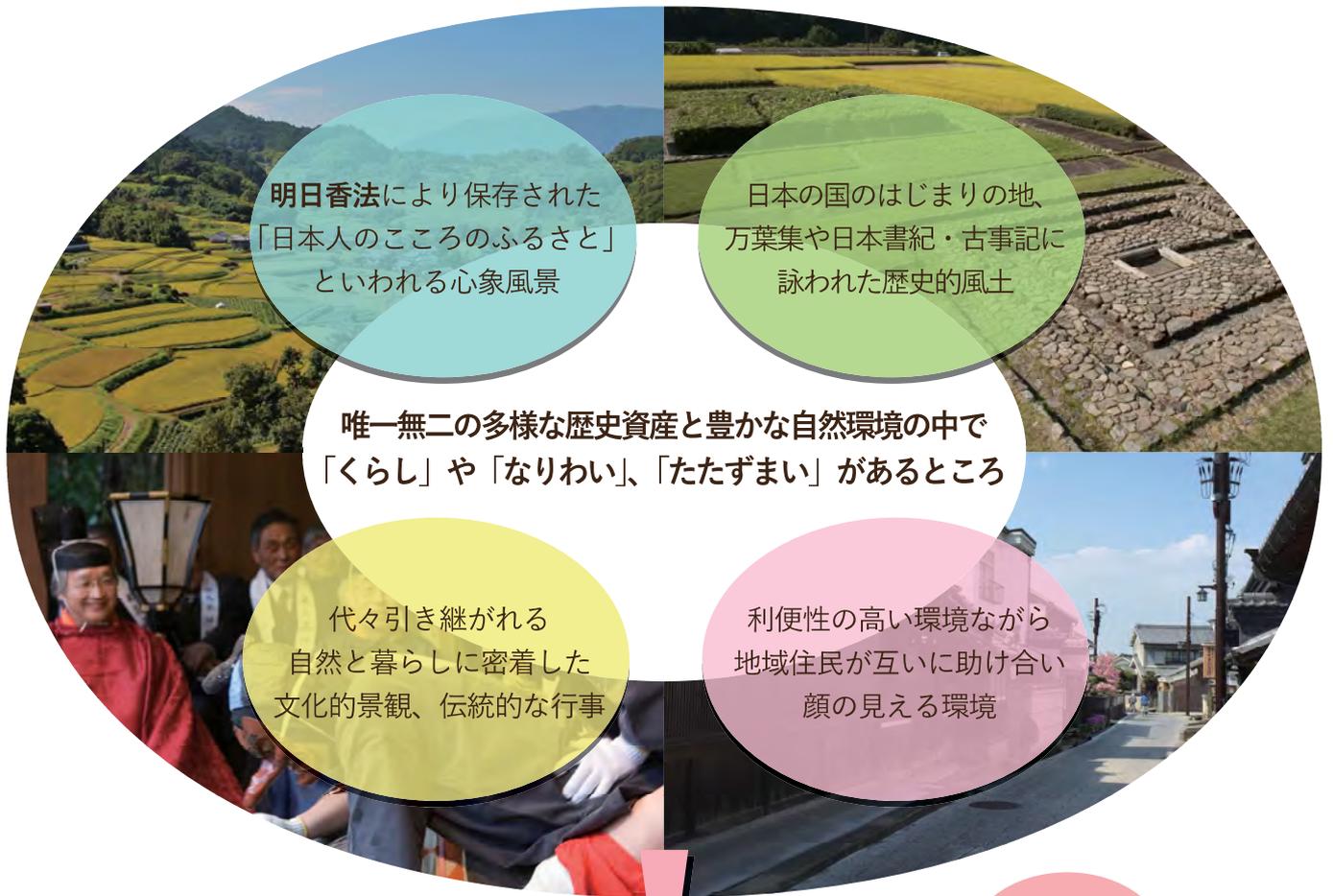
2019年4月 明日香村推計人口

2029年 明日香村推計人口

2060年 明日香村推計人口

明日香村が目指す むらづくり

明日香村の価値



協働による村づくり

様々なノウハウや考えを持った多様な人材が、明日香村を支えるパートナーとして、みんなで地域課題を克服できる明日香村を目指します。



明日香村の目標 (将来像)

村民にとってより暮らしやすく豊かさが感じられる

**「いつまでも住み続けたい」
そう思える夢ある村**
(くらしの環境づくり)

来訪者にとって魅力的で村民も元気に。歴史文化・自然の輝き・人の営みを

**五感で体感できる
「明日香まるごと博物館」**
(活動・交流のむらづくり)

明日香村は、飛鳥時代の歴史や文化だけでなく、脈々と繰り返されてきた人々の営みから育まれてきた文化や歴史的風土を、五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）を最大限に使って感じ楽しめる場所です。

「明日香まるごと博物館」づくりでは、この恵まれた環境を最大限に活用し、村全体を屋根のない博物館として、五感を使った明日香村の楽しみ方を充実させていくことを目指します。

明日香まるごと博物館のイメージ

屋根のない博物館で、歴史文化、自然、営みを体感
 明日香の潜在価値を村民・来訪者が引き出し、博物館の魅力を創出
 何度も来たくなる、新たな魅力の発見、人と人との交流、参加型で創る博物館

観

見どころ

- ・宮跡・遺跡
 - 飛鳥宮跡
 - 水落遺跡
- ・石造物
 - 亀形石造物
 - 猿石・亀石
- ・古墳
 - 石舞台古墳
 - 牽牛子塚古墳
- ・古墳壁画
 - キトラ古墳
 - 高松塚古墳
- ・寺社・史跡
- ・歴史的な街並み
- ・棚田の田園風景

感

体験

- ・農業体験
 - オーナー制度
- ・発掘体験
 - 現場見学会
- ・周遊歩道・古道
 - ウォーク
- ・学習の場
 - 飛鳥学
- ・観光イベント
 - 古都飛鳥文化祭
- ・伝承芸能
- ・万葉集の世界
- ・歴史公園
 - 国営飛鳥歴史公園
- ・マラソン



泊

宿

- ・宿泊施設誘致
- ・民宿
 - ゲストハウス
 - B & B
 - ペンション
- ・教育旅行

食

食事処

- ・地産地消
- ・古民家レストラン
- ・郷土料理
 - 飛鳥鍋
- ・起業
- ・店舗誘致

買

お土産

- ・お土産どころ
- ・農産物加工所
- ・チャレンジショップ
- ・道の駅
- ・飛鳥ブランド

村づくりの基本方針

1

村民が 「健康に暮らし、次代を担う子どもたちが育つ村づくり」

誰もが健康で夢を持って暮らせる環境や次代を担う人材が育つ環境をみんなで作っていきます。

2

全村まるごとを活用した 「活力ある村づくり」

村全体の景観や貴重な文化財をはじめとする村にある特徴的な資源を最大限に活用し、村全体が観光を基軸とし農・林・商・工の分野がそれぞれ活気づく活力ある村づくりを行っていきます。

3

「明日香らしいたたずまいを感じられる村づくり」

明日香らしい古都の「たたずまい」を感じられる歴史的風土を村民が、行政が、明日香村に関心を持つ方々が、それぞれの立場で自然の彩りの育成や歴史的文化的資源の見える化、文化の継承や創造に取り組んでいきます。

明日香村の指標



転出者より転入者が
多くなる

※人口社会増 30人 / 年



人が訪れ交流が生まれ
経済が活性化する
(宿泊者増)

※宿泊客数 5万人 / 年



歴史展示をすすめ
世界に明日香村を発信する

村づくりの体系

～ 志縁活動 ～ 企業・大学・NPO 団体など

～ 地縁活動 ～ 大字・消防団・老人会・婦人会など

くらしの環境づくり

①子育て ②教育・生涯学習 ③福祉 ④健康・医療

社会基盤づくり

⑨生活環境・定住促進 ⑩安全・安心な暮らし

～ 五感で体験 ～

明日香まるごと博物館づくり

⑤農・林・商・工業 ⑥観光振興・雇用創出
⑦歴史的風土の保全活用 ⑧文化の継承と創造

日本
遺産

世界
遺産

観

見どころ

感

体験

泊

宿

食

食事処

買

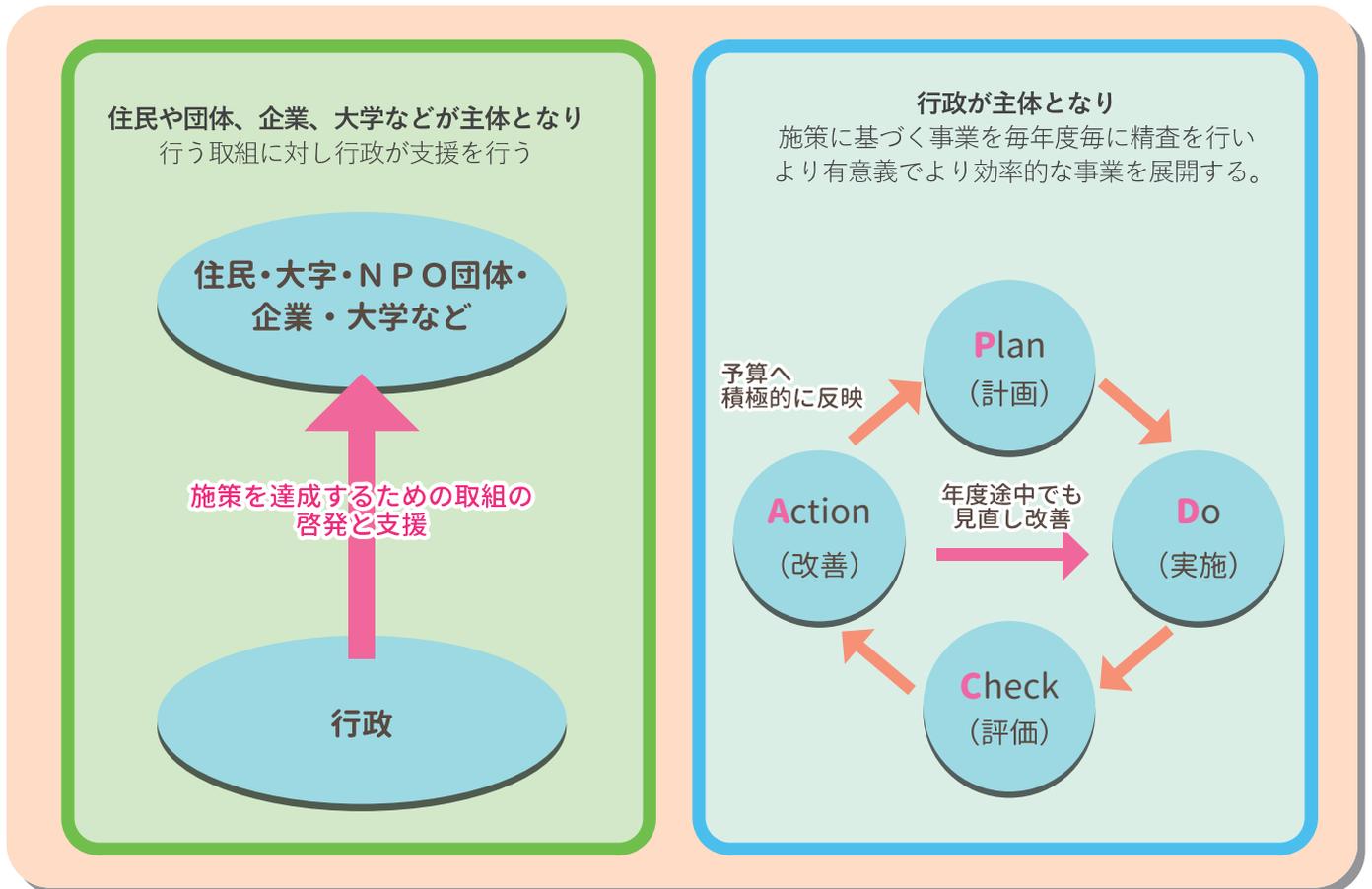
お土産

志縁活動
地縁活動

ボランティア団体、NPO 法人、スポーツクラブなど特定の目的で集まった組織による活動
自治会、PTA など居住地域を対象とした組織による活動

～柔軟かつ着実な取組みを推進するために～

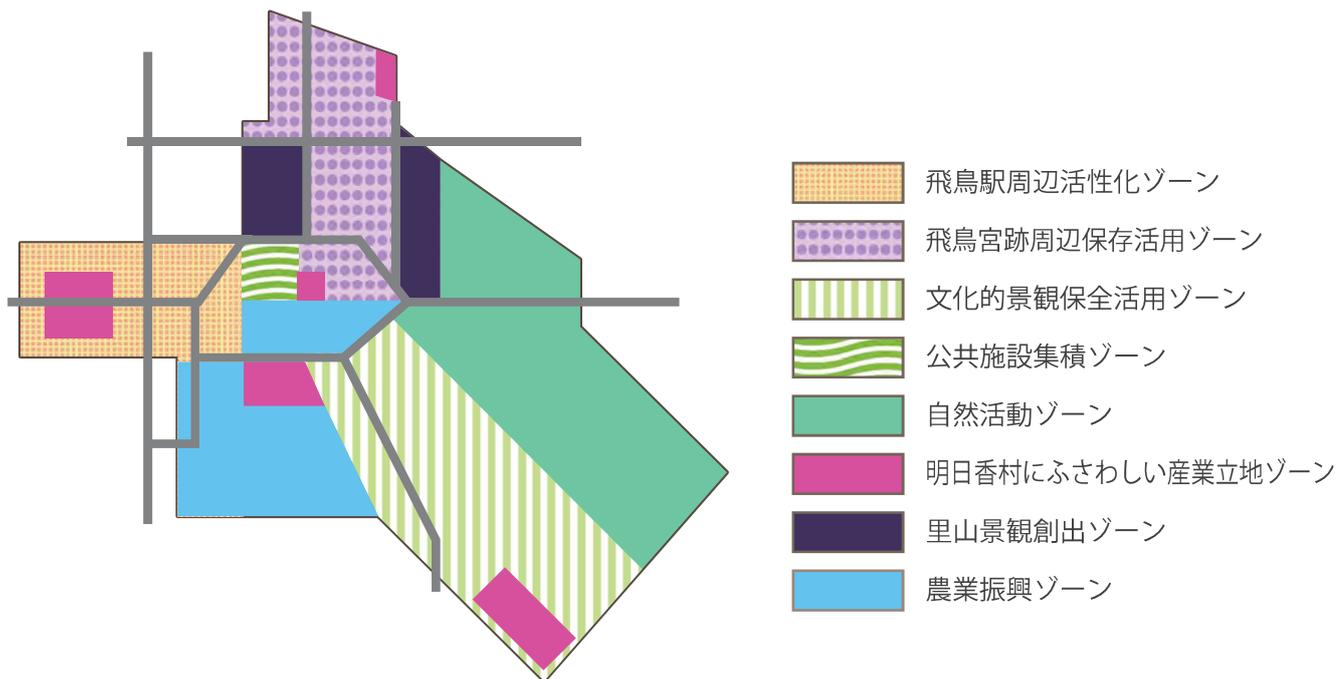
協働による村づくり



財政支援

・ふるさと納税（企業・個人） ・国や県

歴史的風土を保全しつつ文化資源を活用し、人々の営みが活性化する土地利用を進めます。



飛鳥駅周辺活性化ゾーン

国道沿いには、村民の生活を便利にし、来訪者をもてなし、交流するための施設の誘致を優先的に行います。市街化区域では一般住宅の建設による定住を促進します。

また、価値のある古墳群を活用した広域連携による周遊の場や農業体験などの都市農村交流の場として村の魅力発信を図ります。

飛鳥宮跡周辺保存活用ゾーン

飛鳥宮跡、飛鳥京跡苑池を適切に保存活用し、飛鳥時代を体感できる空間を創ります。

隣接する集落では、歴史をゆっくり味わうための宿泊施設や、歴史探索でホッと一息つける喫茶店や飲食店など賑わいを創るとともに、芸術や伝統的な芸能を体感できる場も創ります。

文化的景観保全活用ゾーン

棚田や集落の風景を守り、それぞれの集落が昔から培ってきた伝統行事や暮らしの中での飛鳥川や山林との関わりなどの営みを守ることで、後世に伝えます。

さらに、都市住民が滞在して自然を体験し、村民と交流する取り組みを促します。

※農住環境の拡充

これらゾーンの特性と重ねて既存集落及びその周辺での住宅開発など農住環境の拡充を目指します。

公共施設集積ゾーン

役場、公民館、健康福祉センター、診療所など公共施設を集積することで、村民が効率的に利用できるコミュニティ拠点を育成します。

また、村内外の人々が交流し、情報交換する場の空間を創出します。

自然活動ゾーン

森林・棚田景観の保全など景観形成を進めつつ、樹種転換などの森林整備や間伐材の有効利用における自然体験の場としての活用の展開を図ります。

明日香村にふさわしい産業立地ゾーン

明日香村の歴史や風土に共感する企業の誘致や起業を促進し、明日香村の経済活性化を図ります。

里山景観創出ゾーン

飛鳥宮跡を取り囲む里山は、樹種転換により四季の彩りを感じられる里山景観を創出します。

農業振興ゾーン

点在する当時の天皇や皇族などの陵墓と歴史的景観が調和した独特の景観を創出するとともに、野菜や果樹、米など生産農業の促進を図りながら、観光農園・オーナー制度など農業を通じた交流が生まれる展開を進めます。

明日香村の「スゴイところ」



数多くの史跡

明日香村には、国指定の史跡が 21 件、うち特別史跡が 3 件、国重要文化的景観が 1 ヶ所あります。また**国指定の国宝が 3 件、重要文化財が 20 件、登録有形文化財が 1 件、県指定文化財が 6 件、村指定文化財・天然記念物・無形文化財が 7 件あります。**

出典：明日香村



▲高松塚古墳（特別史跡）



▲キトラ古墳（特別史跡）



▲石舞台古墳（特別史跡）



▲高松塚古墳壁画（国宝）



▲キトラ古墳壁画（国宝）



▲木心乾漆義淵僧正坐像（国宝）

明日香村の「じっは〇〇」



「明日香法」で守られた町並み

明日香法により市街化区域や用途地域を含め、村全域に歴史的風土特別保存地区の規制がかかっており、歴史的風土を保存するために、**住民は自宅の新築、改築などの様々な行為に対して許可等が必要になります。**

移住して住宅を新規で建てる場合は、限られた市街化区域や一部調整区域の中で土地を確保するか空き家を活用する必要があります。住民のこれらの保存行為により、村全域が良好な歴史的景観として維持されており、国等からの支援もこの町並みを守るために大きな役割を果たしてきました。



▲電線類地中化地区（岡）



▲金融機関



▲コンビニ

「明日香法」とは？

「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法」

都市化の波が押し寄せていることや、規制による保存区域に指定された土地の現状維持を図るだけでは、生活環境や産業基盤の脆弱さが解消されないことから、識者、マスコミ、村民が一体となって、保存の担い手である住民生活との調和を図られる法制度を全国に向かって声をあげました。

その結果、村全域を対象に、古都保存法の特例として制定されました。



明日香っ子の思い

小学高学年～中学生の 93%が、明日香村の風景を「美しい」と思っています。

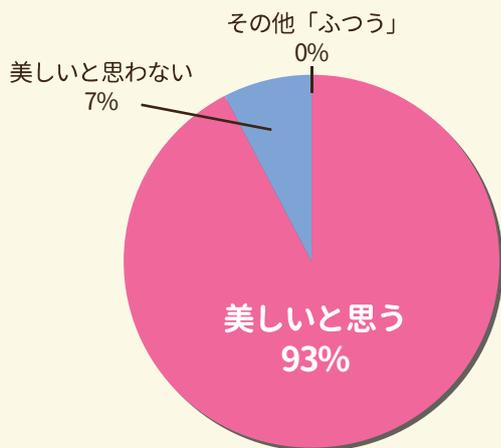
また 2 人に 1 人は、「古代に都があった歴史」「たくさんある貴重な古墳や宮跡などの文化財」「昔ながらの落ち着いた風景」が自慢であり大切にしたいと思っています。

幼小中
一貫教育

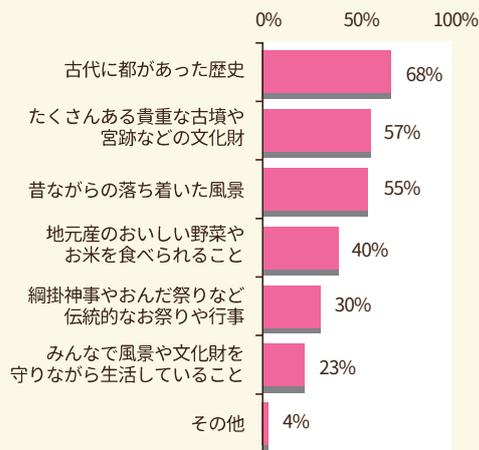
子育て



あなたは、明日香村の風景をどう思いますか？



あなたが、明日香村のなかで大切にしたいもの、自慢（じまん）できるものはなんですか？（複数回答）



出典：明日香村「むらづくり」アンケート
(小学5年～中学生3年生対象) 平成30年実施

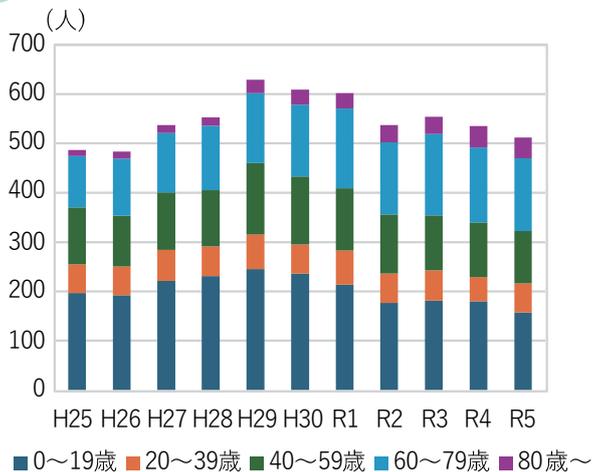
「たの楽スポあすか」で子どもからお年寄りまでスポーツを楽しむ



総合型地域スポーツクラブ「楽スポあすか」は、幼児から高齢者まで「いつでも」「どこでも」「だれでも」「いつまでも」楽しく安全にスポーツ・文化活動に親しみ、住民間の交流機会の拡充を図り、**世代間を超え、個々のライフスタイルに合わせて気軽にスポーツに親しむ環境を提供しています。**「楽スポあすか」の会員数は年々増加しており、どの年代でも会員数は増えています。

出典：明日香村

楽スポ



総合型地域スポーツクラブ「楽スポあすか」の会員数





※冊子内の写真は一部を除き「明日香路を写そう写真コンクール」入賞作品から掲載しています。

第5次明日香村総合計画基本構想—明日香村読本 更新版

令和2年3月 発行・編集（令和7年一部更新）：明日香村
〒634-0111 奈良県高市郡明日香村大字岡55番地
TEL：0744-54-2001 FAX：0744-54-2440